

1 愛知県茶業連合会の概要

県内の主要茶産地の生産者組織 6 会員で構成される連合会です。

毎年、県・市町村との共催により、茶品評会を開催するほか、生産技術研修会や茶消費拡大イベントの開催等、茶業振興を目的とした行事を実施しています。

1949 年に設立され、2019 年に 70 周年を迎えました。

○構成会員

西尾市茶業組合、吉良茶業組合、豊田市茶業組合、愛知東農協茶業部会、豊橋市茶業同志会、愛知みなみ農協田原茶部会

2 今年の茶の生育状況

今年は、2月の平均気温が平年より5℃ほど高く推移したものの、3月下旬からの冷え込みにより、新芽の生育がやや遅れる傾向にあります。

西尾市吉良地区のてん茶は、5月の連休頃から^{てきさい}摘採が始まる見込みです。

3 2022 年産茶の生産状況等

愛知県における茶栽培面積は 278ha で全国 15 位、荒茶(※)生産量は 559t で全国 13 位です。そのうちてん茶の荒茶生産量は 397 t で全国 4 位です。

※ 茶葉(生葉)を蒸熱、揉み操作、乾燥等の加工処理を行い製造したもので、仕上げ茶として再製する以前のもの。

2022 年産茶の栽培面積及び生産量

		全茶種	てん茶
愛知県	栽培面積 (ha)	278	
	荒茶生産量 (t)	559	397
全国	栽培面積 (ha)	34,888	
	荒茶生産量 (t)	75,129	3,809

(全国茶生産団体連合会調査)

あいちの茶 産地紹介



4 第 76 回関西茶業振興大会愛知県大会について

今年度、愛知県において第 76 回関西茶業振興大会を開催します。

この大会は関西・東海地区の 6 府県（滋賀県、京都府、奈良県、愛知県、岐阜県、三重県）の持ち回りでお茶の生産技術・品質の向上と消費拡大を図るために開催しており、8月の品評会審査会、9月の入札販売会、11月の大会式典などがあります。

茶生産者が大会の主要行事である品評会審査会に向けて、高品質なお茶づくりの意気込みを語ります。